



DEC, 2025 | VOL.111

ARMY

Active Reliance Morale Yearning

陸上自衛隊 部内広報誌

TOP 海上輸送群 輸送艦 命名式・進水式

国民の自衛官表彰

共同訓練

ヤマサクラ89
オリエント・シールド25
レゾリュート・ドラゴン25
スーパー・ガルーダ・シールド25
ブリュネ・タカモリ25

八丈島災害派遣

DGP E 指揮転移
etc.

目次



海上輸送群 輸送艦 命名式・進水式



国民の自衛官表彰



共同訓練

ヤマサクラ89
オリエント・シールド25
レゾリュート・ドラゴン25
スーパー・ガルーダ・シールド25
ブリュネ・タカモリ25



八丈島災害派遣



DGP E 指揮轉移



陸上幕僚長の活動

ARMY
Vol.111



AMV出荷式

令和7年9月2日、荒井陸上幕僚長は、株式会社日本製鋼所の室蘭製作所において、装輪装甲車（人員輸送型）AMVの量産初号機の出荷式に参加しました。この量産初号機を皮切りに、今年度から部隊配備が始まります。陸上自衛隊が今回導入するAMVは、優れた機動力及び防護力を備えており、脅威下における人員輸送を可能にする他、国際平和協力活動等においても幅広い活用が期待される装備です。



IPACC参加

令和7年9月22日～25日、荒井陸上幕僚長は、インド太平洋地域陸軍参謀総長等会議（IPACC）に参加しました。マレーシア陸軍部隊の訪問や参加各国の参謀長等との意見交換を通じ、相互の信頼関係を構築するとともに、インド太平洋地域の平和と安定のため、更なる連携強化を図ることで一致しました。



蘭陸軍司令官公式招待

令和7年10月29日～30日、荒井陸上幕僚長は、オランダ陸軍司令官スウィレンス陸軍中將を公式招待しました。オランダ陸軍司令官の訪日は20年振りです。懇談においては、戦略環境認識を共有し、今後の日蘭陸軍種間協力の方向性について率直に意見を交換しました。また、習志野駐屯地を訪問し、第1空挺団及び中央特殊武器防護隊の概況説明、訓練・装備品展示により、理解を促進するとともに、空挺分野及びC B R N分野での交流の資を得ました。



海上輸送群 輸送艦 命名式・進水式



2番艦 あまつそら

令和7年10月23日、自衛隊海上輸送群に配備される輸送艦（LCU）2番艦「あまつそら」の命名式・進水式が内海造船株式会社の瀬戸田工場で実施されました。LCUは、水深が浅い島しょ部の港湾にも部隊や補給品の輸送が可能です。LCUの取得により、大小多くの島々が点在する南西諸島等において、迅速かつ確実な輸送が可能となり、島しょ防衛に万全を期するものとなります。



3 番艦 あおぞら

令和7年11月6日、自衛隊海上輸送群に配備される輸送艦（LCU）3番艦「あおぞら」の命名式・進水式が、内海造船株式会社の瀬戸田工場で実施されました。



国民の自衛官 表彰

令和7年10月14日、産経新聞社が主催する「第23回国民の自衛官」表彰式がホテルグランドヒル市ヶ谷で開催され、9名、2機関が表彰されました。



国民の自衛官とは



濱畑信康 1等陸尉
航空操縦士として災害派遣等に従事

「国民の自衛官」は、産経新聞社が主催する民間では唯一の自衛官表彰制度で、平成14年度から始まりました。「国民に感銘を与えた頼もしい自衛官」「やさしい自衛官」「強い自衛官」などを選出し表彰されます。陸、海、空それぞれの専門分野で功績があった自衛官や部隊、機関などが推薦され、有識者が選考を行っています。

今年度表彰では、陸上自衛隊から推薦した
第1輸送ヘリコプター群 濱畑信康 1等陸尉
中央輸送隊 高橋亜里 2等陸曹
自衛隊体育学校 佐藤大宗 3等海尉
自衛隊中央病院リハビリテーション技術学科（機関）
上記、3名1機関が表彰されています。



高橋亜里 2等陸曹
正看護師資格を取得



佐藤大宗 3等海尉
パリオリンピック近代5種競技に出場



中央病院リハビリテーション技術学科
ウクライナ負傷兵の受け入れ対応

陸上自衛官 受賞者の紹介

第1輸送ヘリコプター群第103飛行隊

1等陸尉 濱畑 信康

功 績

航空操縦士として136件（延べ289日）の災害派遣及び緊急患者空輸にて飛行任務及び指揮所勤務に従事。また、約27年間、約3500時間の無事故飛行を継続するとともに、操縦士の育成を実施して精強な部隊の育成に寄与

受賞者コメント

このような名誉ある賞を賜り、身に余る光栄に存じます。

これまでの任務や訓練においてご指導くださった上司・先輩方、共に任務にあたった仲間、すべての方々に深く感謝申し上げます。

今後も一層精進し、自衛官としての責務の完遂に努めてまいります。



陸上自衛隊中央輸送隊

2等陸曹 高橋 亜里

功 績

主婦・子育ての合間に通信制看護学校に通い正看護師資格を取得するとともに、マラソン大会における人命救助活動及びボランティアへの参加により、地域活動へ貢献

受賞者コメント

この度、このような評価を頂き誠にありがとうございます。これもひとえに上司、同僚、家族の理解・協力のお陰だと思っています。踏み出さないと何も始まりません。挑戦する気持ち、あきらめない心が道を開くことがわかりました。



ヤマサクラ

YAMASAKURA

89



令和7年度日米豪共同指揮所演習

令和7年8月21日～9月1日までの間、陸上自衛隊は、米陸軍、豪陸軍とともに、日米豪共同指揮所演習（ヤマサクラ89）を実施しました。

陸上幕僚長 陸将 荒井 正芳

統裁官

本訓練の目的は、陸上自衛隊、米陸軍及び豪陸軍が共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練し、その能力の維持・向上を図るものです。

中部方面総監 陸将 遠藤 充

演習部隊長

本訓練を通じて、地域の安定に対する強固な抑止力を示すとともに、我が国の平和と安全の確保、国際社会における信頼と協力の深化に大きく貢献しました。



オリエント・シールド

ORIENT SHIELD

25



令和7年度米豪陸軍との実動訓練

令和7年9月16日～9月24日までの間、陸上自衛隊は、
関山演習場において、米豪陸軍との実動訓練
(オリエント・シールド25)を実施しました。

中部方面総監 陸将 遠藤 充

担任官

中部方面総監部、第3師団、
中部方面航空隊、中部方面衛生隊等

実施部隊

本訓練の目的は、陸上自衛隊、米陸軍及び豪陸軍が、それぞれの指揮
系統に従い、共同して作戦を実施する際の連携要領を訓練し、作戦遂
行能力の向上を図るものです。

本訓練では、先般実施したヤマサクラ89で演練した内容を踏まえ、実動訓練を実施し、
相互運用性の向上を図るとともに、インド太平洋地域の平和と安定に寄与しました。





レゾリュート・ドラゴン

RESOLUTE DRAGON

25



令和7年度米海兵隊との実動訓練

令和7年9月11日～9月25日までの間、陸上自衛隊は、令和7年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン25）を実施しました。

西部方面総監 陸将 鳥海 誠司
担任官

西部方面隊、陸上総隊等
実施部隊

本訓練の目的は、陸上自衛隊及び米海兵隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の連携要領を訓練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るものです。

9月16日から米陸軍と実施するオリエント・シールド25と、米海兵隊と実施するレゾリュート・ドラゴン25の2つの演習を通じて、日米陸軍種の相互運用性の更なる向上を図りました。





スーパー・ガルダ・シールド

SUPER GARUDA SHIELD

25



令和7年度米尼軍等との実動訓練

令和7年8月24日～9月4日までの間、陸上自衛隊は、インドネシア共和国において、令和7年度米尼軍等との実動訓練（スーパー・ガルダ・シールド25）に参加しました。

陸上総隊司令官 陸将 小林 弘樹
担任官

第1空挺団、水陸機動団等
実施部隊

本訓練の目的は、統合・共同による島しょ奪回に係る作戦・戦闘を演練し、作戦遂行能力及び戦術技量の向上を図るものです。

本訓練を通じ、インド太平洋地域における各国との連携をより一層強化しました。陸上自衛隊は、引き続き、共同訓練等への参加を通じ、インド太平洋地域の平和と安定の実現に向けて各国と連携していきます。





ブリュネ・タカモリ

BRUNET TAKAMORI

25



令和7年度仏陸軍との実動訓練

令和7年9月1日～9月11日までの間、陸上自衛隊は、ニューカレドニアにおいて、令和7年度仏陸軍との実動訓練（ブリュネ・タカモリ25）を実施しました。

東北方面総監 陸将 牛嶋 築

担任官

第21普通科連隊／第9師団

実施部隊

本訓練の目的は、仏陸軍との実動訓練を実施して、対ゲリラ・コマンドウ作戦に係る作戦遂行能力・戦術技量の向上を図るものです。

本訓練を通じて、自由で開かれたインド太平洋の実現に向け、相互理解・信頼関係を促進しました。





八丈島災害派遣

陸上自衛隊は、令和7年10月11日から11月14日の間、東京都八丈町における台風第22号及び23号に係る災害派遣を実施しました。
第1後方支援連隊をはじめとした各部隊が、給水支援、給食支援、入浴支援、物資輸送等の活動に従事しました。





国際平和協力活動等

International peace cooperation activities

派遣海賊対処行動支援隊 指揮転移

令和7年8月、派遣海賊対処行動支援隊（DGPE）は、指揮転移式を行い、第13代司令 鈴木1佐から第14代司令 田中1佐へと正式にバトンが引き継がれました。陸上自衛隊は、DGPEへの要員派遣を通じ、我が国及び国際社会にとって極めて重要なシーレーンの安定的利用の確保に寄与していきます。

※DGPE:

Deployment Support Group
for Counter-Piracy Enforcement Force



PNG軍楽隊育成

令和7年8月18日から9月19日の間、陸上自衛隊中央音楽隊は、ポートモレスビーにおいて、パプアニューギニア独立国に対する能力構築支援（軍楽隊育成）を実施しました。本事業はPNG軍楽隊の創設から10年以上にわたり継続しています。



PNG能力構築支援



PNG独立50周年記念国際軍楽祭参加

令和7年9月6日、陸上自衛隊中央音楽隊及び東部方面音楽隊は、パプアニューギニア独立50周年を記念する国際軍楽祭に参加しました。パプアニューギニア独立国が初めて軍楽祭を主催するに至ったことに対し、喜びを分かち合いました。

陸上自衛隊最先任上級曹長の活動状況

インド太平洋陸軍上級下士官リーダーズフォーラム (IPACC-SELF)

令和7年9月22日～24日の間、マレーシア・クアラルンプールで実施された、インド太平洋陸軍上級下士官リーダーズフォーラム（IPACC-SELF）に参加し、各国最先任上級曹長と進化する技術への対応及び人材育成の在り方について意見交換を実施しました。また、パネリストとして「陸上自衛隊が培ってきた准曹能力向上・育成」について発表し、一層の相互理解と信頼醸成を図りました。



部隊現況把握

隊員との意見交換、勤務環境及び生活環境の現地確認（隊員激励）を通じ、部隊及び隊員の状況を把握しています。引き続き様々な活動を通じて、陸上自衛隊の更なる強靱化に努めます。



海田市駐屯地



大分弾薬支処



名寄駐屯地

陸上総隊・方面隊等最先任会同

令和7年11月10日～11日の間、防衛省市ヶ谷において、令和8年度陸上自衛隊業務計画第1次指示と併せて、陸上総隊・方面隊等最先任上級曹長会同を実施しました。会同では、陸幕長訓話、人材育成の取組みと課題について討議を行いました。



予備自衛官等の制度・訓練の紹介

予備自衛官等制度の概要

予備自衛官

採用年齢

1佐～3曹は62歳未満
士長～2士は55歳未満

訓練日数

年間5日間
※ 自衛隊退職後1年未満で採用の場合、初年度「1日間訓練」のみ

各種手当

予備自衛官手当 **12,300円/月**
訓練招集手当 **11,000円/日**
勤続報奨金 **70,000円/任期(3年)**

即応予備自衛官

採用年齢

2尉～1曹は53歳未満
2曹・3曹は52歳未満
士長・1士は50歳未満

訓練日数

年間30日間

各種手当

即応予備自衛官手当 **18,500円/月**
訓練招集手当 **26,300円～17,100円/日**
勤続報奨金 **215,000円/任期(3年)**

任期制自衛官退職時進学支援給付金

概要

任期制自衛官として任期満了まで勤務し、国内の大学等に進学した方で、在学中に**予備自衛官または即応予備自衛官に任用されている場合に給付金を支給**

支給要件

- ・任期制自衛官であって、任期満了した日に退職していること
- ・予備自衛官または即応予備自衛官として任用されていること
- ・学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学専攻科、高等専門学校専攻科、専修大学(専門課程4年生)に在学していること。(夜間・通信制の大学等を除く。)

給付金額

即応予備自衛官 **535,800円(上限)/年**
予備自衛官 **356,000円(上限)/年**

給付期間

正規の修学年数(4年または6年)を支給対象

予備自衛官(技能:法務)

特別な招集訓練(07JXR)の実施



東北方面隊では、7月16日から17日までの間、**07JXRへ技能公募予備自衛官(法務)が参加**しました。弁護士資格を有する予備自衛官が、自衛隊の災害派遣活動とそれに連携した法務業務に関する検討を常備自衛官と共に実施し、**防衛法制に関する理解を深め**ました。

【引用元】東北方面總監部(仙台)

即応予備自衛官

招集訓練(弾薬補給競技会)の実施



北部方面隊では、10月19日に北部方面後方支援隊**第102弾薬大隊による弾薬補給競技会**が行われました。大隊長統裁のもと、各中隊は機材の部及び手搬送の部で競い合いました。即応予備自衛官は日ごろの招集訓練で得た識能を十分に発揮し、**常即一体となって競技会に臨み大活躍**しました。

【引用元】第102弾薬大隊(北千歳)

興味のある方は、所属部隊等の人事担当者へ確認!!
希望により、最寄りの地方協力本部担当者が更に丁寧に説明します。

生活・勤務環境の改善・魅力化

より快適な営内生活を実現するため、備品の魅力化や移動の利便性を向上する事業を進めています。



Topic①

営内居室モデルルームの紹介

「物心両面の即応性や自律心の養成」と「プライバシーの確保によるくつろぎの空間」を両立するシンプルかつ機能的で現代的なデザインの営内居室作りを進めていきます。

隊員の意見を踏まえて新たに調達される備品等を選定するため、多くの駐屯地がモデルルームを設置しました。



伊丹駐屯地



郡山駐屯地



久居駐屯地



前川原駐屯地



湯布院駐屯地



別海駐屯地



八尾駐屯地



どれも素敵！
こういう
営内居室なら
さらに快適に
過ごせそうね

Topic②

カーシェアリング

隊員が駐屯地から移動する際の利便性を向上する取組として、駐屯地でカーシェアリングを導入する駐屯地も増えています。

健軍駐屯地（R7年9月～）



上富良野駐屯地（R7年9月～）



Seikin総合パンフレット

【令和7年度版 陸自生動パンフ】New!

令和7年度 陸上自衛隊
生活・勤務環境の改善・魅力化に係る啓蒙の参考



令和7年4月
陸上自衛隊

陸幕人事教育部の
HP上にアップされているよ



令和8年
1月1日公開

陸上自衛隊HPリニューアル

陸上自衛隊の公式HPが生まれ変わります！

Point

- ① TOPページが**洗練されたデザイン**へ
- ② これまで以上に**情報へアクセスし易く、スマホからの操作性**が向上
【リニューアルイメージ】

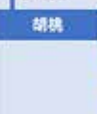


映画『宣誓』 令和8年3月6日公開

 陸上自衛隊高等工科学校を始め、
陸自の各学校、各部隊が制作協力した映画が公開されます。

～ あらすじ ～

未曾有の大災害「東日本大震災」で災害派遣活動を行う第6後方支援連隊の春日（かすが）小隊長が現地の避難所で吉村（よしむら）少年と出会う。自らも被災者である春日小隊長と部下である佐藤（さとう）曹長が奮闘する姿とそれに影響を受ける吉村少年の姿を描いた作品

【避難所】			【第6後方支援連隊】			【大規模捜索】		
避難所ボランティア			連隊長／二等陸曹 中丸 浩一 (宇都 龍史)			中隊長／二等陸曹 木下 三郎 (内田 剛雄)		
 片岡 健二 (永瀬 雄二)	 川久保 愛 (豊田 優花)	 服部 善次 (岩崎 翔一)	 小隊長／二等陸曹 春日 純平 (松川 泰之)	 小隊長／二等陸曹 佐藤 真奈美 (竹島 由夏)		 二等陸曹 森口 太輔 (堀内 順成)		
 白田 一郎 (大池 泰誠)	 橋井 保子 (伊藤 つかさ)	 吉村 和樹 (豊原 俊聖)				 二等陸曹 塩田 尚良 (藤原 剛)		
遠い親戚						【衛生】		
 飯田 咲良 (立石 晴香)	 内藤 美沙子 (半井 小結)	 鏡子 内藤 奈那	 二等陸曹 石井 隆之 (横川 雅也)	 二等陸曹 持田 健作 (山崎 正幸)	 二等陸曹 加山 曜衣 (村上 ひなた)	 二等陸曹 大山 幸治 (藤井 雄郎)	 二等陸曹 阿部 聡美 (宮本 真希)	



VOL.111

JGSDF Internal PR Magazine

ARMY

Active Reliance Morale Yearning

